

経営比較分析表（令和元年度決算）

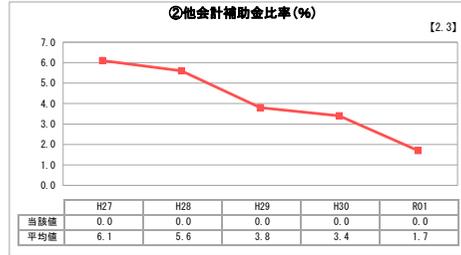
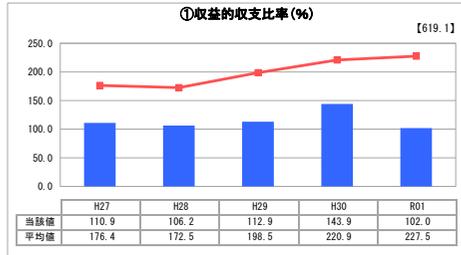
岐阜県中津川市 中津川市駅前市営駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	43	

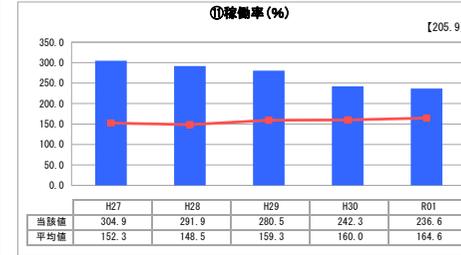
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	3,718
収費台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
123	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
— 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

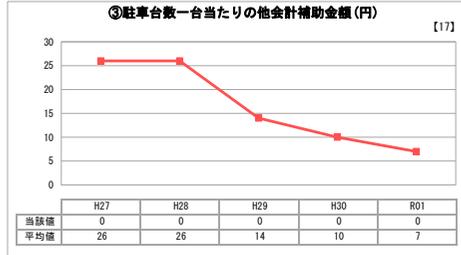
1. 収益等の状況について
 人件費の上昇に伴い指定管理料が増えている。さらに建物建設から43年が経過しているため老朽化が激しく、修繕費がかさんでいる。
 近年は近隣に利用料金に上乗せのある安価な民間駐車場が増えてきたため利用者数に影響が出ていることと、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛の影響を受け、前年度と比較して収益が減少した。

2. 資産等の状況について
 建設から43年が経過して老朽化が進んでおり、修繕費が増加している。今後10年間を目処に事業廃止（民間譲渡）も視野に入れ、検討する必要がある。

3. 利用の状況について
 全国平均及び類似施設平均よりも高い稼働率となっているものの、無料で利用できる2時間以内での利用者が7割を超えている。近隣の商店街店舗は専用駐車場を保有していないため、2時間の使用料減免を受けられる当該駐車場は、店舗に客呼び込みのために欠かせない施設となっている。

全体総括
 建設から43年が経過して老朽化が進んでおり、修繕費が増加している。修繕費の手当てや、収益的収支比率の向上のために入庫から2時間無料の運用の変更を検討する必要がある。また今後10年間を目処に事業廃止（民間譲渡）することについても検討する必要がある。

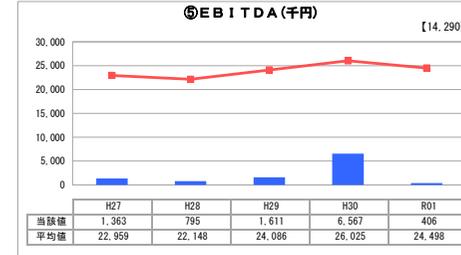
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額 (円) [17]



④売上高GOP比率 (%) [20.8]



⑤EBITDA (千円) [14,290]



2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率 (%)



⑦敷地の地価 (千円)

53,504

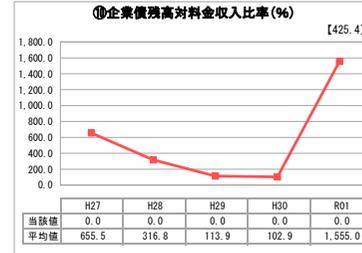
⑧設備投資見込額 (千円)

13,000

⑨累積欠損金比率 (%)



⑩企業債務高対料金収入比率 (%) [425.4]



経営比較分析表（令和元年度決算）

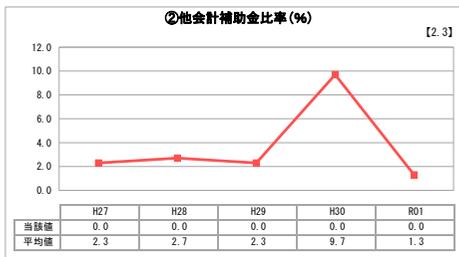
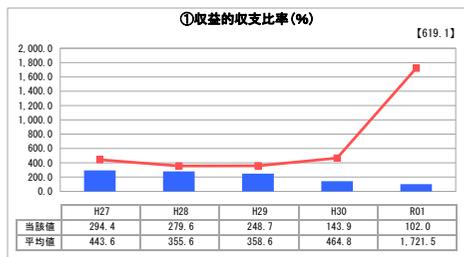
岐阜県中津川市 中津川市駅前広場駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率 (%)	種類	構造	建設後の経過年数 (年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	43	

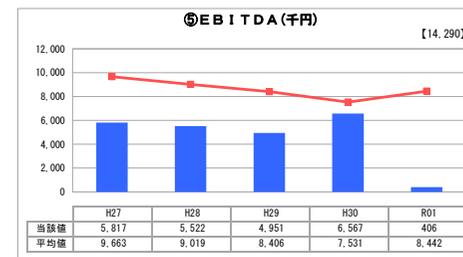
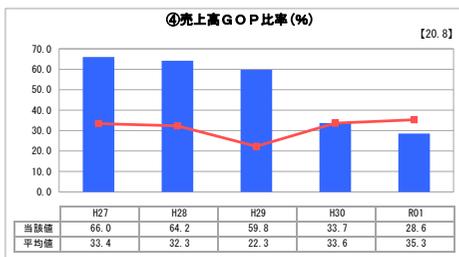
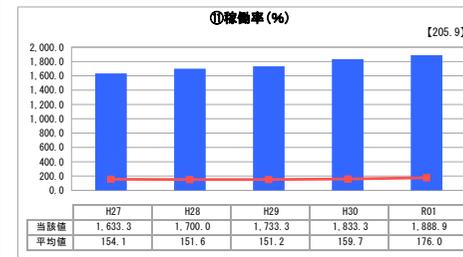
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積 (㎡)
公共施設	無	440
収費台数 (台)	一時間当たりの基本料金 (円)	指定管理者制度の導入
18	200	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



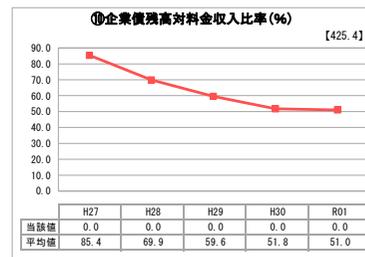
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑥敷地の地価 (千円)	41,629
⑦設備投資見込額 (千円)	13,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 人件費の上昇に伴い指定管理料が増加し、収益的収支比率が下がった。
 近隣に利用料金の上限がある安価な民間駐車場ができたことと、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛があったため、長時間利用者が減り売上げが減少した。

2. 資産等の状況について
 平面駐車場のため、軽微な修繕のみが発生する。駐車券発券機及びゲートバーは設置から10年以上経過し老朽化しているため、今後更新が必要となる。

3. 利用の状況について
 稼働率は右肩上がりとなっているが、入庫後30分間無料を利用する者年々増え続け、現在では8割を超え、売上げが減少している。通勤・通学の送迎等の待機場としての利用が増えており、また駅周辺施設利用への駐車場としても利用されているため、市民にとって必要な施設である。

全体総括
 人件費が上昇し、近隣に低料金の民間駐車場が増えていることから、今後は収益の確保が難しい状況である。稼働率は年々増加しているため、今後の駅前再整備と併せて方針を検討していく必要がある。